

向きを変えよ！ 向きを変えるときを決断 「感謝の土台石」

ヨシュア4:7~24

はじめに

神様の御心というのは、荒野に道を設ける計画です。私たちにとっては「何故、このようなことが起こるのか」と思えるようなことに対して、正しくその物事を乗り越えることができれば、想像をはるかに超える恵みとなって荒野に道が設けられ、荒地に川が設けられる奇蹟が起こるということを聖書は約束しています。

私たちの教会のテーマは「変貌・變遷」です。神様によって信仰によって歩いて行く時に、少しずつ神様は私たちを造り変えてくださり、いつの間にか大きな変貌、つまり、神様が創造された元の姿に近付いていきます。

ヨシュア記 3:1- を振り返りながら…

契約の箱を見つけるまでは出て行ってはいけないと神様は言われました。そして、箱を見つけたなら民全員がその箱が見えるように距離を保って進んで行き、そして、ヨルダン川の中にまず最初に契約の箱が入って中心に着いたら、契約の箱と12部族の民のリーダー12人と祭司はそこにとどまり、民全員が渡り切る間に部族ごとに川から12の石をとって上がってくるように神様は命じられます。これは、12の石を見る度に契約の箱を見続けることとヨルダン川を渡る時ずっと神様が守ってくださったことを思い出すようにということです。

ヨシュア記 3:1- を振り返りながら…

恐れは人生の破壊者です。本来は影響を与えるような力はないものであってもそれを見て恐れる時、人生に大きな影響をもたらします。恐れが始まったのはアダムとエバが神様との約束を破って善悪を知る木の実を食べた後です。正直に言えば良かっただけなのに、これからどうなるのだろうという恐れでいっぱいになったその結果、「自分は悪くない！」と責任転嫁をしてしまったのです。

神様は「石を持ってきなさい」「恐れるな」そして、「次の世代にも教えなさい」と言われました。
(ギルガル)とは〈ころがす〉という意味です。今まで立っていた石を壊して新たな約束の石を立てたという意味です。もし、神様の契約の箱を見て目の前のヨルダン川を信じて渡るなら、過去と決別して自分に死ぬのなら、イスラエルの民、私たちがずっと背負ってきたこれまでの価値観や恥、痛み、悲しみ、裏切り、偽り、罵り、レッテル…それを神様はころがす、全部取り去ると言われました。

騙されてはいけません…

神様を信じて次のステップに進むならその人は朽ちる体ではなく、永遠のいのちを得ます。けれど、アダムとエバの罪の結果、私たちは死は避けられません。肉体は確かに朽ちていきます。もし、肉体の病だけを恐れるのならそれは愚かなことです。なぜなら、病は肉体を蝕むことはできても神様が造られた命を蝕むことはできないからです。悪魔は「あなたは死なない」とアダムとエバに言いましたが、ここで悪魔が死なないと言ったのは肉体のことです。神様が死ぬと言われたのは命についてです。ここからすでに悪魔の嘘が始まっています。ですから、私たちは騙され、内側のことではなく、外側のことを恐れるようになっていきます。人生でもっとも大切なものは健康と多くの人を言います。健康は確かに大切に良いことです。けれど、健康を左右しているのは「病は気から」と言われる諺にもあるように私たちに心です。心が脅かされるから体も調子が悪くなるのです。ですから、聖書は私たちに心を守るように語っているのです。朽ちていく外側の肉体に対しての恐れではなく、永遠のいのちを蝕んでしまう神様から離れさせる恐れをとらなければなりません。恐れから解放されれば肉体の病は怖くありません。なぜなら、その先を進むのは神様だからです。死は神様の元に返っていくだけです。

神様のしてくださったことを忘れない…

私たち人間はヨルダン川を渡った後にだいたい神様のよくしてくださったことを忘れてしまいます。そして、目の前に新しい問題がくるとすぐにまた文句を言ってしまう。ダビデは神様がしてくださったことを忘れないように3時間ごとに感謝

の歌を歌うようにしました。神様は石の祭壇を築いてずっと見ておくなら過去のこれまでのそしりは取り去られると言われました。記念碑を飾る文化は、石はいつまでも朽ちないで残るからです。感謝があれば、新たな問題と思えるようなことを通り過ぎる時も、その感謝をもってまた乗り越えることができます。

感謝の人生のために大切な3つのこと

- ①素直な態度…神様が愛するのは素直な人です。失敗しない人ではなく、失敗した時に嘘を言わず素直に神様の前に出る人です。また、ヨシュアのように神様が言われることを信じて素直にやろうという人です。
- ②感謝の教育…あなたと共にいる人に感謝を共有することです。特に次の世代にです。家族が祝福され繁栄されている人は共通して感謝を言い表しています。その家庭はさらに感謝が広がっていきます。感謝にはすごい力があります。また、偉そうな態度をとらず、自分よりも若い人に対しても目を見て話し、教えられる謙遜な態度があります。
- ③感謝できる体験…神様が荒野を学ばせ、旅をさせ、人々にハングリーを与えるのは感謝ができる体験を与えるためです。神様が生きていることを教えるためです。

モーセの遺言向きをかえよ現実と過去にとらわれない生き方

- ①過去 or 将来 ②恐れ or 祈り ③不安 or 信じる ④不満 or 感謝 ⑤批判 or 協力 ⑥停滞 (考える) or 行動 ⑦嘆き or 改め
- イエス様がすべての私たちの罪を、恥、痛み、悲しみ、裏切り、偽り、罵り、レッテル、思い煩い…を背負ってくださったのですから、私たちは向きを変えるこの決断を選べます。決断ができれば、荒野に新しい道、荒地に川を設けると神様は約束してくださっています。

心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人たちのものだから。

イスラエルの民はようやく心を貧しくし、従えなかった彼らを変えられ、へりくだる者とされていきヨシュアに従っていきました。ヨルダン川を渡って過去に死んで新しく生まれ変わったのです。彼らと同じように私たちもその喜びを受け取ることができます。今、このメッセージを聞いている人は、古い者は過ぎ去ってすべてが新しくなったと神様が約束された方々だからです。あとは、私たちがそれを信じるか、疑って恐れるかの違いです。「あなたが信じるなら、神の栄光を見る。」とイエス様は言われました。信じて踏み出し、感謝をするなら、それが子々孫々千代にまで及ぶのです。神様の栄光が追いかけてきます。そのような人生を共に歩いていきましょう。

祈りましょう…

神様。あなたは天の窓を開いて溢れる恵みを注いでくださるお方です。痛み、喜べない出来事、肉体の弱さ、家族が傷んでいること…様々な問題の中で、恐れるのではなく、感謝できないような時にダビデがあなたのしてくださった恵みを思い起こし、命がけで「ハレルヤダ」とあなたに手をあげて感謝したように、私たちがあなたの恵みを思い起こし、決断して感謝の手をあげていきます。その時に喜びが心に溢れてくることを信じます。

ヨシュアのようにあなたを信じて素直に一步踏み出す時、私の人生にもヨルダン川を真っ二つに分けた奇蹟をなしてくださることを信じます。

(要約者:全本みどり)

(2024年10月6日)